

保証書

この製品は、厳密なる品質管理及び検査を経てお届けしたものです。
お客様の正常なご使用状態で、万一故障した場合には、お買い上げの
販売店に必ず本保証書を提示の上、修理をご依頼ください。

裏面の保証規定により、無料で修理いたします。

※印欄の記入のない場合には、有効とはなりませんから、必ず記入
の有無をご確認ください。

商品名	R-110番D	
保証期間	※ お買い上げ年月日	1 年間
	年 月 日から	
※ お客様	ご住所	TEL.
	氏名	様
※ 販売店	店名住所	TEL. 

本保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。



株式会社 **マルハマ**

神奈川県横浜市南区白妙町4-43-4

TEL 045(242)4375

 **MARUHAMA**

車載用盗難警告システム

X&K 2バンドレーダー探知機

R-110番D

取扱説明書

お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
ございます。

未永くご愛用いただくために、この取扱説明
書をよくお読みになり、正しくお使いくださ
い。また、お読みいただいた後は、保証書と
ともに大切に保管してください。



	ページ
1. 特長	1
2. 各部の名称とはたらき	2
3. 取付け方法	5
4. 盗難警告機の使用法	8
5. ポケットベルの使用法	11
6. レーダー探知機の使用法	13
7. 使用上のご注意	14
8. 故障とお考えになる前に	15
9. 主な仕様	16

- 一台二役のレーダー探知機付車載用盗難警告システム
ドライブ中はうっかり違反を解消し、駐車時の車上盗難やいたずらなどを警告。お車の安全を全面的にバックアップします。
- ワンタッチの簡単取り付け
シガー・ライター・ソケットより電源を取る方式ですので、簡単に取付けることができます。
- コンパクト & セパレート
レーダー探知機は脱着式ですので、ご使用にならない場合は盗難警告機本体から簡単に取りはずせます。

【盗難警告機】

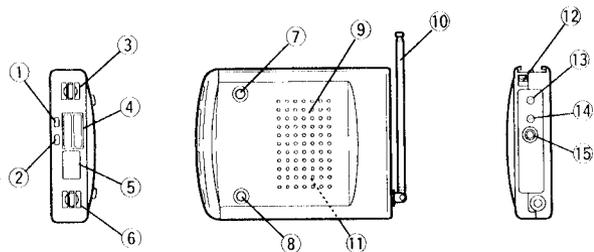
- 超音波によるモーション・センサー
40KHzの超音波で車内の動きを敏感にキャッチします。
- 音声・発光による強力警報
車内の侵入者に対し、音声・ストロボ発光等により、効果的に警告します。同時に無線方式によりポケットベルにアラーム信号を送信。車の異常を即時お知らせします。
- リモコン簡単操作
ポケットベルのリモコンで車外から盗難警告機の操作ができます。
- ID識別登録
盗難警告機とポケットベルの間には、それぞれ個別認識信号が入力されています。他のセットのポケットベルで操作されることはありません。

【レーダー探知機】

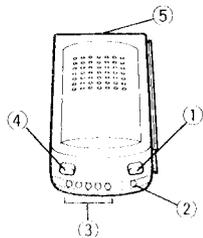
- X・K 2バンド対応
XバンドおよびKバンドに対応。すべてのレーダー取締り機に対して使用できます。
- 受信感度切換え方式
市街地では低速走行用のノーマル・モードに、高速道路や自動車専用道路では高速走行用のスーパー・モードにと、走行場所や道路状況により、ワンプッシュで受信感度の切換えができます。
- 音・光によるダブル警報システム
レーダー波を受信すると、アラーム・ランプの光とブザーの音とによって受信をお知らせします。また、レーダー波が強くなる(発信源に近づく)につれて、警報音の速さおよびアラーム・ランプの点滅速度がそれぞれ変化する段階的警報システムです。

2. 各部の名称とはたらき

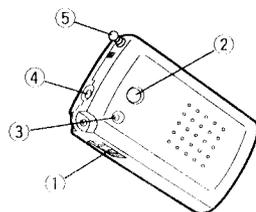
【盗難警告機本体】



【レーダー探知機】

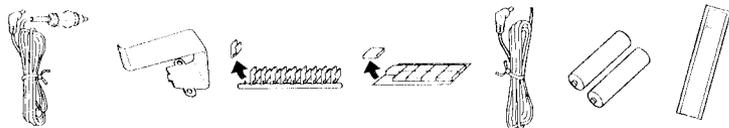


【ポケットベル】



付属品

シガープラグ 1個 リンバイザー クリップ1個 コードクリップ 1セット 両面テープ 1セット 電源ケーブル 1本 単4乾電池 2本 サイロパネル



【盗難警告機本体】

- ① モード・ランプ (MODE)
イグニション・キーONのとき点灯し、セキュリティ動作中は消灯します。アラーム動作中は点灯します。
- ② センサー・ランプ (SENSOR)
モーション・センサーが物の動きを検出すると点灯します。
- ③ 超音波センサー受信部
- ④ ストロボ発光部
- ⑤ 赤外線リモコン受信部
- ⑥ 超音波センサー発信部
- ⑦ テスト・スイッチ (TEST)
アラームの動作確認を行なうスイッチです。スイッチを押すと、アラーム動作を一回実行します。
- ⑧ 電源スイッチ (POWER)
本体の電源をON/OFFします。一度押すとONとなって電源がはいります。もう一度押すとOFFとなり、電源が切れます。
注：アラーム動作中にOFFにすることはできません。
- ⑨ 内蔵スピーカー
- ⑩ 無線送信用ロッドアンテナ
ポケットベルにアラーム信号を送信します。ロッド・アンテナを伸ばしていただくと送信到達範囲が大きくなります。
- ⑪ 内蔵充電式ニッカド電池パック
単3形4本のパックを使用します。1時間の充電で約10時間、4時間の充電で約40時間動作します。
- ⑫ レーダー探知機取外し用ノブ
内側に引いてレーダー探知機を取りはずします。
- ⑬ 電源ジャック (OUT)
 - 他のDC12V用機器を接続できます。
 - 付属の充電用電源ケーブルを接続します。(→ P.7参照)
- ⑭ 電源ジャック (IN)
付属のシガー・プラグを接続します。
- ⑮ 外部スピーカー出力端子 φ3.5

[レーダー探知機]

- ① 電源スイッチ (POWER)
レーダー探知機の電源をON/OFFします。
- ② 電源ランプ・アラームランプ
レーダー探知機の電源がはいると点灯します。
レーダー波を受信すると点滅します。
- ③ アラームレベル・メーター
受信したレーダー波の強さを示します。
- ④ 感度切り換えスイッチ (SENS)
レーダー探知機の受信感度を切り換えることができます。
スイッチを押すと高感度 (SUPER) になります。
- ⑤ レーダー波受信部

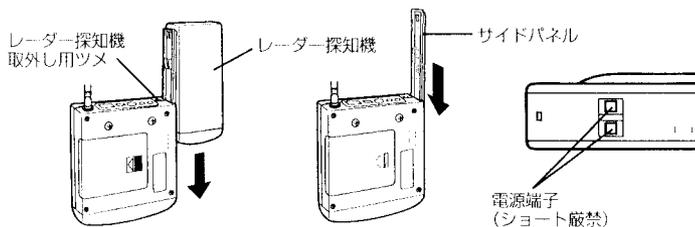
[ポケットベル]

- ① 電源スイッチ (ON ◀▶ OFF)
電源をON/OFFします。
- ② リモコンスイッチ (REMOTE)
スイッチを押すと、アラーム音が止まります。
また、リモコン操作の場合は、盗難警告機のセキュリティ動作が一定時間停止します。
- ③ アラームランプ
電源が入るとランプが3秒間点灯します。
盗難警告機本体から送信されたアラーム信号を受信すると、ランプが点滅します。
- ④ 赤外線リモコン発信部
- ⑤ 受信用ロッドアンテナ

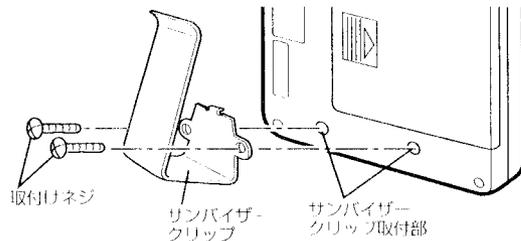
3. 取付け方法

1. サンバイザーへの取付け

- ① 盗難警告機本体にレーダー探知機を組み込んでください。
本体の溝とレーダー探知機の溝を合わせて、本体後面 (アンテナ側) よりレーダー探知機をカチッと音がするまでスライドさせます。
注: レーダー探知機をご使用にならない場合は、付属のサイドパネルを必ず装着してください。本体側面のレーダー探知機用電源端子がショートすると故障しますのでご注意ください。

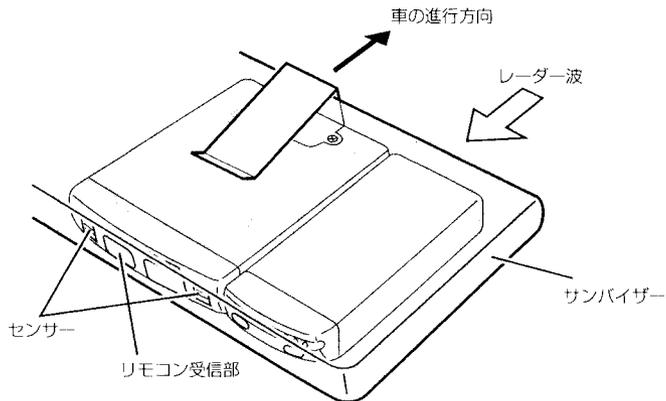


- ② 本体にサンバイザー・クリップを取付けてください。
サンバイザー・クリップ取付け部のネジをドライバーではずし、クリップをネジ止めします。



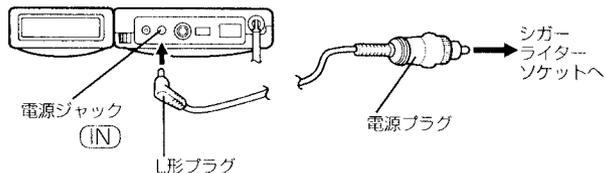
- ③ 車のサンバイザーに本体を取付けてください。
レーダー探知機のレーダー波受信部を車の進行方向に向け、本体が地面と水平になるようにしてください

注：レーダー探知機のレーダー波受信部、本体のセンサー送・受信部、および赤外線リモコン受信部の前方に障害物の来ないように取付けてください。



2. 電源の接続および配線

- ① 本体の電源スイッチをOFF(■)にしてください。
② 電源コードのL形プラグを本体の電源ジャック(IN)に差し込み、電源プラグを車のシガー・ライター・ソケットに差し込んでください。

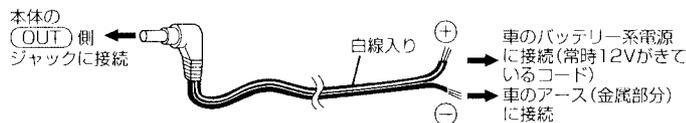


注：シガー・プラグは必ず付属のものをご使用ください

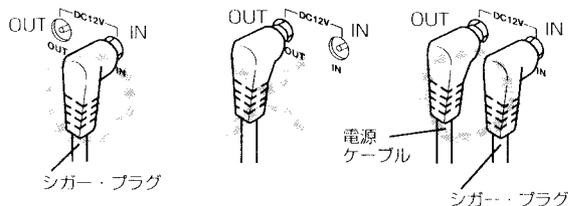
- ③ コード・クリップ(付属品)に電源コードをはさみ込んで、配線したい場所に両面テープ(付属品)で固定してください。
注：貼り付ける場所が汚れていると、接着性が悪くなります。

□ 車のバッテリー系から電源をとる場合

運転時間の短い方は、電池パックに十分充電できません。
このような場合は、付属の電源ケーブルを接続します。
(電池パックに常時充電することができます)



注：(OUT)のみ使用されますと、自動的にセキュリティ動作状態となります。(OUT)を使用される場合は、必ず(IN)と併用してください。



4. 盗難警告機の使用法

本機は、超音波モーションセンサーを使用したカーセキュリティーシステムです。駐車などで車を離れる場合は、車のイグニッションキーをOFFにする（キーを抜く）と自動的にセキュリティー動作し、盗難やいたづらを監視します。

1. 本機をご使用になる前に

本機をご使用になる場合は、本体内蔵の電池パックに充電してください。車のイグニッションキーをONにすると、シガーライターより電池パックに充電します。

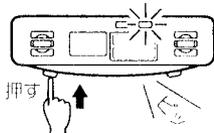
充電時間の目安：1時間の充電で約10時間動作、満充電（4時間）で約40時間動作します。

車の運転時間が短く、十分に充電ができない場合は、付属の電源コードを車のバッテリー系電源に接続してください。→接続方法はP7を参照

2. 使用方法

盗難警告機をご使用になる場合は、本体の無線送信用ロッドアンテナを本体と垂直になる様にセットし、ロッドアンテナを引き伸ばしてください。アンテナを伸ばさない場合は、電波の送信距離が短くなります。

- 盗難警告機本体の電源スイッチ（POWER）をON（)にします。（POWER）スイッチを押すと、モード（MODE）ランプが点灯し、センサーが動作します。（イグニッションキーがOFFの場合でも、（POWER）スイッチをONできます。）



- 車のイグニッションキーをOFFとします。エンジンを止めて、キーを抜きます。

注：車のキーを抜いても、シガーライター電源が切れない車種の場合は、イグニッションキーをOFFした後、シガープラグを抜いてください。

- イグニッションキーをOFFとしてから、20秒以内に車外に出て、ドア及びウィンドウをロックします。20秒間セキュリティー待機状態となります。
注：風などの影響を受けることがありますので、ウィンドウは最後まで閉めてください。
- イグニッションキーをOFFとしてから、20秒後にモード（MODE）ランプが消えて、セキュリティー動作を開始します。
- 車外に出る前にアラーム動作した場合は、ポケットベルのリモコン操作をおこなってください。→P.12を参照
セキュリティー動作が停止し、20秒後に再開します。
- イグニッションキーをONにする（エンジンをかける）と、セキュリティー動作を解除します。

3. セキュリティー動作中に異常を感知した場合

セキュリティー動作中に、車内に侵入されたり、車体に強い衝撃が加えられた時など、センサーが異常を感知した場合は、モード（MODE）ランプが点灯し、アラーム動作を開始します。

アラーム動作：音声での警告→ストロボ発光→アラーム音の順に侵入者に対し繰り返し警告します。
同時に、無線方式*により、ポケットベルへアラーム信号を送信します。

* 盗難警告機本体とポケットベルの無線送信距離は、アンテナを伸ばした状態で市街地の場合は約300m、郊外の場合は約1km～2kmです。（送信距離は障害物・天候・電波状況により変化します。）



4. テストモードについて

テストモードにより、アラーム動作の確認ができます。

本体のテスト(**TEST**)スイッチを押すと、アラーム動作（音声→ストロボ発光→アラーム音及びアラーム信号の送信）を1回テストします。

注：運転中は危険ですから(**TEST**)スイッチは、押さないでください。
テストモードは、停車中におこなってください。

5. ポケットベルの使用法

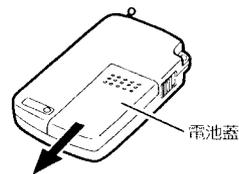
ポケットベルを使用する場合は、電池が消耗していないか確認し、受信用ロッドアンテナを引き伸ばしてください。
アンテナを伸ばさない場合は、受信距離が短くなります。

1. 乾電池の入れかた

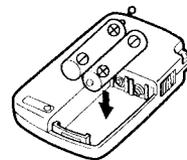
ポケットベルは単4形乾電池を2本使用します。アルカリ乾電池の場合は、約60日間連続使用（受信待機状態）できます。

電池が消耗した時は、早めに新しい電池と交換してください。

- ① 裏面の電池蓋を矢印の方向にスライドして開けます。



- ② 乾電池（単4形2本）を極性⊕⊖を合わせて入れます。



- ③ 電池蓋をスライドして固定します。

乾電池についてのご注意

- 極性⊕⊖は、正しく入れてください。
- 電池を交換するときは、2本とも新しい電池に交換してください。
- 長時間使用しないときは、乾電池を取り出しておいてください。

2.使用方法

- 1] 電源スイッチを **[ON]** にします。
アラームランプが3秒間点灯します。
注：アラームランプが点灯しない時は、電池が消耗していますので、電池交換をおこなってください。
- 2] 受信用ロッドアンテナを伸ばし、ポケットベルは手元に置く様にして
ください。
- 3] 盗難警告機本体から送信されたアラーム信号を受信した場合は、アラームランプが点滅し、アラーム音を出します。
- 4] アラーム音を止めたいときは、リモコン (**REMOTE**) ボタンを押してください。

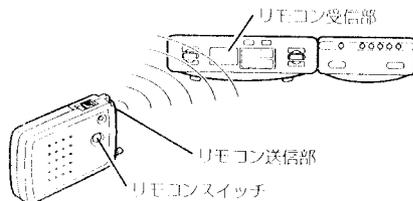
※ ポケットベルを使用しない時は、(電池の消耗を抑える為)電源スイッチを **[OFF]** にしてください。

ご注意

アラーム信号(電波)の送信及び受信距離は、周囲の障害物などにより、かなり変化します。ビル内の駐車場やホテルの個室などでは、近距離でも電波が届かなくなる(電波を受信できなくなる)場合があります。このような場所でご使用になる場合は、あらかじめ電波を受信することを確認してください。

3.リモコン操作

リモコン操作により、セキュリティ動作を一定時間停止することができます。中外出る前に、盗難警告機がセキュリティ動作を開始した場合は、ポケットベルのリモコン送信部を本体のリモコン受信部に向けて、リモコン (**REMOTE**) スイッチを押します。本体が信号を受信すると、20秒間セキュリティ動作を停止します。



6. レーダー探知機の使用法

本機のレーダー探知機はXバンド及びKバンドに対応しています。国内のすべてのレーダー取締り機に対して使用できます。また、レーダー探知機は脱着式ですので、ご使用にならない場合は、盗難警告機本体から簡単に取り外しができます。

1.操作方法

- 1] レーダー探知機の電源を入れます。
電源 (**POWER**) スイッチをON (**—**) にすると、電源 (アラーム) ランプが点灯します。
- 2] 受信感度を設定します。
走行状況により、感度切り換え (**SENS**) スイッチを押して設定します。

受信感度の目安

- NO：ノーマルモード：市街地(低速度)走行時
- SU：スーパーモード：高速道路・郊外走行時

2.レーダー波を受信すると

走行中、レーダー波を受信した場合は、警報音/アラームランプ/アラームレベルメータにより、レーダー波の受信をお知らせします。また、レーダー波が強くなる(発信源)に近くなるにつれて、警報音の速さとアラームレベルメータの点灯数がそれぞれ変化します。

レーダー波の強さ	弱い → 強い
警報音	ビッピ (間欠音) → ビー (連続音) 間欠音の間隔が短くなり連続音となる。
電源 (アラーム) ランプ	レーダー波受信で点滅開始 点滅の間隔 長 → 短
アラームレベルメーター	点灯数 (1個) → (5個) 段階的に点灯数が増える

- 注：
- レーダー探知機の電源は盗難警告機より供給していますので、レーダー探知機単体でご使用になることはできません。
 - レーダー探知機を取り外した場合は、付属のサイドパネルを盗難警告機に必ず装着してください。

7. 使用上のご注意

- 本機は精密部品を多数使用しています。分解・改造はしないでください。回路に高電圧がかかっているので大変危険です。また、急激な衝撃や振動を加えないでください。故障の原因となります。
- 本機を高湿・多湿になる場所や直射日光の当る場所に置かないでください。故障や変形の原因になります。特に真夏の炎天下で駐車される場合は、本機をダッシュ・ボードの上などに置かないようにしてください。
- レーダー探知機は、マイクロ波を利用したレーダー方式に対応する探知機です。光電管方式やワイヤー方式に対しては作動しません。
- 取締りレーダー波以外にも感知することがあります。同一周波数を使用している機器(下記)周辺でも反応する場合がありますが故障ではありません。
(マイクロ波のドップラー式自動ドア/車両通過計測器/マイクロウェーブ通信回路/港湾レーダー/航空レーダーなど)
- 本機は12V仕様車のみご使用になれます。
- 本機を取付けた上での盗難・スピード違反については、当社では一切の責任を負いかねます。日頃からの注意と安全運転とをお心掛けください。

8. 故障とお考えになる前に

ご使用中に異常を感じた場合は、故障と思われる前に下記の点をお確かめください。

症 状		原 因
盗難警告機	電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源スイッチが入っていない。 ● シガープラグが完全に挿入されていない。 ● シガーライターソケットの汚れによる接触不良。 ● シガーライターソケットに電源がきていない。
	セキュリティ動作しない	<ul style="list-style-type: none"> ● 電池バックが消耗している。 → 充電してください。 ● 車のキーを抜いてもシガーライターの電源が切れない車種があります。 → シガープラグを抜く。
	アラーム動作が止まらない	<ul style="list-style-type: none"> ● シガープラグが外れている。 ● 電源スイッチを操作している。 → アラーム動作中は電源スイッチでの操作はできません。 ● シガープラグをDC12V-OUT側に接続している。 → DC12V-IN側に接続してください。
ボケツケツベル	アラームが鳴らない	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源スイッチがOFFになっている。 ● 電池が消耗している。 ● 電波の届かない場所にいる。
	リモコン操作ができない	<ul style="list-style-type: none"> ● 電池が消耗している。 ● リモコンの送信部または受信部が汚れている。 ● 距離が離れすぎている。
レーダー探知機	電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源スイッチが入っていない。 ● 本体に正しくセットされていない。 ● 電源端子が汚れている。
	取締り現場に遭遇しても警報音が鳴らない	<ul style="list-style-type: none"> ● レーダー波以外の取締りを、レーダー式と勘違いしている。 ● 取締り準備中または終了後などで、取締り機に電源が入っていない。
	取締り以外で警報音が鳴る	<ul style="list-style-type: none"> ● 取締りレーダー波以外にも同じマイクロ波を使用している機器の影響。

9. 主な仕様

保証規定

[盗難警告機本体]

- 電源電圧 DC12V (外部電源)
DC3.6V (充電式ニッカド電池パック)
- 消費電流 50mA (待機時)
- 送信電波形式 F3E
- 送信周波数 426.025~426.1375MHzの1波
- 送信出力 1mW
- 動作温度範囲 -10℃~+60℃
- 外形寸法 90(W)×115(D)×26.5(H)mm 突起部を除く

[レーダー探知機]

- 電源電圧 DC12V
- 消費電流 100mA (待機時)
- 受信バンド Xバンド/Kバンド
- 受信方式 ダブル・スーパー・ヘテロダイン方式
- 受信感度 Xバンド -110dBm/スーパー・モード
Kバンド -105dBm/スーパー・モード
- 動作温度範囲 -10℃~+60℃
- 外形寸法 50(W)×115(D)×26.5(H)mm 突起部を除く

[ポケットベル]

- 電源電圧 DC3V (単4乾電池2本)
- 消費電流 30mA (待機時)
- 動作温度範囲 -10℃~+60℃
- 外形寸法 52(W)×80(D)×15.5(H)mm 突起部を除く

別売品 [充電用ACアダプター
外部スピーカー PS-35]

1. 保証期間内(お買い上げ日より1年間)に、正常なる使用状態において、万一故障した場合には無料で修理いたします。
2. 保証期間中に修理を依頼される場合は、製品に保証書を添えて、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。
3. つぎのような場合には、保証期間内でも有料修理になります。
(イ)使用上の誤り、製品に改造を加えた場合や当社指定のサービス店以外で修理された場合
(ロ)お買い上げ後の輸送、移動、落下等による故障及び損傷
(ハ)火災、地震、水害、公害、異常電圧、指定外の使用電源(電圧・周波数)及びその他天災地変などによる故障及び損傷
(ニ)保証書のご提示がない場合
(ホ)保証書の指定事項の未記入、あるいは字句を書き換えられた場合
4. 本保証書は、日本国内においてのみ有効です。

修理メモ